

一泊人間ドックのご案内

令和8年度版

生活習慣病とは、毎日のよくない生活習慣の積み重ねによって引き起こされる病気です。日本人の3分の2近くがこれが原因で亡くなっています。糖尿病、脳卒中、心臓病、脂質異常症、高血圧、肥満など、健康診断や人間ドックで早期発見することが、治療する際にとっても重要になっています。そこで、当病院では一泊人間ドックを用意して、皆様の健康管理のお手伝いをいたします。

令和8年度一泊ドック実施日（曜日）、時間、料金

コース	一泊人間ドック (1泊2日コース)	脳ドックオプション追加の場合
	実施曜日	火～水 木～金
時間	午前9時15分～ 翌日午後1時頃	午前9時15分～ 翌日午後1時頃
料金 (消費税込)	男性 87,900円	*左記料金に 27,500円追加
	女性 96,000円	

- ◆ 料金はすべて税込みです。
- ◆ 健康診断や人間ドックは保険診療が適用されませんのでご了承ください。なお、会社等でお支払いをご希望される場合はご相談ください。
- ◆ 内視鏡検査（胃カメラ）は経口・経鼻で実施できます。経鼻カメラをご希望の場合は、当日申し出てください。なお、経鼻カメラは台数に制限があるためお待たせする場合がありますのでご了承ください。
- ◆ 内視鏡検査（胃カメラ）で組織検査を要すると診断され、組織採取を行った場合、組織検査は健康保険が適用されません。
- ◆ ご希望によりオプション検査を実施した場合は、上記料金のほか別途追加料金が必要になります。ご希望の方は事前にお申し込みください。
- ◆ 取得した個人情報は当ドック以外の目的には利用いたしません。

スケジュール

1日目		2日目	
9:15	受付 診察（脳ドック分）	6:00	血圧 糖負荷試験（採血・トルナツG服用）
9:30	身体計測（身長・体重・血圧） 腹囲測定	8:30	診察
10:00	採血・採尿・心電図・体液量測定	8:45	視力検査・眼圧検査
10:30	腹部超音波検査	9:00	胃部内視鏡検査
11:30	子宮頸がん検診（女性のみ）	10:30	栄養相談
12:00	昼食（特別メニューでご準備しております。）	12:00	昼食（食堂や売店で使用できるチケットをお渡しします。）
13:00	高次機能検査（長谷川式知能評価）		終了
13:30	頸動脈超音波検査 動脈硬化検査・肺機能検査・聴力検査・眼底検査・負荷心電図		
15:30	胸部X線検査・骨塩定量検査 乳房X線検査（女性のみ）		
16:00	肺マルチスライスCT検査		
16:20	頭部MRI・MRA検査		
18:00	夕食（特別メニューでご準備しております。）		

コンタクトレンズをご使用の方は、検査項目により、はずしていただく場合があります。コンタクトレンズケース・眼鏡等は忘れずにお持ちください。



- 赤の項目は、脳ドックをオプションで追加された場合
- 青の項目は、肺がん健診をオプションで追加された場合

受診にあたって

●受診当日

朝起きてからは、何も食べないで（飲まないで）ください。（水での口すすぎは可）

タバコも一切口にしないでください。

ただし、**血圧・心臓・喘息等**の薬は、朝6時までにはコップ3分の1の水で飲んでかまいません。

お申込方法

- 受付時間 8:30 ~ 16:00
- 完全予約制となっております。
- 下記までお申込みくださいますようお願いいたします。
(一回の受け入れ人数に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。)
- 一泊人間ドックのご案内、調査票、検査容器等は受診日の2週間前までに郵送いたします。
- 食物アレルギー等の確認のため、調査票等、先にご返送いただく書類があります。到着後、ご確認ください。



結果の報告

- 一泊人間ドック終了後おおむね3週間ほどで、健康診断結果報告書を指定先に郵送いたします。

オプション検査について

- 一泊人間ドックオプション検査のご案内をご参照ください。
- オプション検査を実施した場合は、別途追加料金が必要になります。
- オプション検査は一泊人間ドック申込時に併せてお申込みください。
- 当日のオプション検査を追加することはできませんのでご了承ください。



腹囲はズボンやスカートなどのウエストの位置ではなく、おへその高さで、衣服を着けない状態で測ります！



【お申込み・お問い合わせ先】

北村山公立病院 医事情報課 健康診断担当

TEL : 0237-42-2111 (内線 2204)

FAX : 0237-43-7076 (医事情報課 直通)

北村山公立病院電話番号
0237-42-2111

一泊人間ドック オプション検査のご案内

オプション検査は、一泊人間ドック申込みと併せてお申込みください。
*当日、オプション検査を追加することはできません。

脳ドック

●対象 男女問わず希望者

料金 27,500 円

脳ドック希望の方が行うMRI検査は、強力な磁石を使用した検査です。ペースメーカーを使用している方、人工関節の手術を受けられた方、その他体内に金属の入っている方は受けられない場合があります。事前にお問い合わせください。



検査項目	検査内容	目的やわかること
凝固系一般検査	プロトロンビン時間測定	血液中の凝固因子を検査します。脳梗塞などの関連を推定します。
	活性化部分トロンボプラスチン時間	
高次機能検査	長谷川式テスト	認知症を調べる検査です。
超音波検査（頸動脈）		頸部の血管（特に動脈）の状態をチェックします。
頭部MRI検査		磁場と高周波とコンピューターを利用し、脳の断面を画像化する検査法です。脳の血管障害（脳梗塞など）や、脳腫瘍の発見に役立ちます。
頭部MRA検査		MRIにより脳の血管系を抽出する検査です。脳動脈瘤や脳動静脈奇形の発見に効果があります。

●一回の採血で同時実施できる検査です

採血による腫瘍マーカー検査（男性）

料金 4,600 円

腫瘍マーカーとは、がん細胞の目印（マーカー）となる物質の総称です。がん等の悪性腫瘍のときに血液中に増加します。悪性腫瘍以外からはほとんど作られない物質のため、腫瘍の早期診断などに有効とされます。各種 X 線検査、超音波検査等他の検査と組み合わせておこなうことで補助的役割としての効力を発揮します。今回は、その中からよく使われる4項目の検査を行います。

検査項目	対象となる範囲
CEA	各消化器がん、肺がん、甲状腺がん等
CA19-9	膵臓がん、胆嚢がん、胆管がん、胃がん、大腸がん
SCC	食道がん、頭頸部がん、肺がん等
AFP	肝細胞がん

採血による腫瘍マーカー検査（女性）

腫瘍マーカーとは、がん細胞の目印（マーカー）となる物質の総称です。がん等の悪性腫瘍のときに血液中に増加します。悪性腫瘍以外からはほとんど作られない物質のため、腫瘍の早期診断などに有効とされます。各種 X 線検査、超音波検査等他の検査と組み合わせておこなうことで補助的役割としての効力を発揮します。

G セット 4項目（CEA・CA19-9・SCC・CA-125）

料金 4,600 円

主に消化器系や卵巣・子宮頸部のがんについての検査を行います。

M セット 3項目（CEA・CA15-3・NCC-ST-439）

料金 3,200 円

主に消化器系や乳がんについての検査を行います。

G+M セット 6項目

料金 6,700 円

（CEA・CA19-9・SCC・CA-125・CA15-3・NCC-ST-439）

女性の腫瘍マーカー検査（消化器系、卵巣・子宮頸部がん、乳がん）を一回で受けることができます。

対象	検査項目	対象となる範囲
G セット	CEA	各種消化器がん、肺がん、甲状腺がん等
	CA19-9	膵臓がん、胆嚢がん、胆管がん、胃がん、大腸がん
	SCC	子宮頸がん、食道がん、頭頸部がん、肺がん等
	CA-125	卵巣がん
M セット	CEA	各消化器がん、肺がん、甲状腺がん等
	CA15-3	乳がん
	NCC-ST-439	乳がん、膵臓がん、大腸がん等

●一回の採血で同時実施できる検査です

ヘリコバクターピロリ抗体検査 ●対象 男女問わず希望者 料金 1,000 円

血液検査により、胃内のヘリコバクターピロリの存在を知ることができます。ピロリ菌が原因とされる消化性潰瘍のほとんどは、この除菌によって治癒し、再発率も著しく低下しますので、これまで潰瘍の治癒・再発を繰り返されていた方に特におすすめします。なお、ヘリコバクターピロリ抗体検査が陽性であっても胃にまったく症状がない方や、またすでに除菌治癒された方でも、除菌後数年間陽性になることがありますので、申込時にご相談ください。

甲状腺ホルモン検査 ●対象 男女問わず希望者 料金 4,000 円

甲状腺ホルモンの値を調べて、甲状腺の病気の診断に役立てます。この甲状腺ホルモンが過剰になる甲状腺亢進症は、体重が減少し、動悸息切れ、脈が速くなるなどの症状がみられます。

甲状腺ホルモンが不足する甲状腺機能低下症は、無気力、身体のむくみ、皮膚の乾燥などがあらわれます。軽症のうちには症状がはっきり現れませんので、血液検査での甲状腺ホルモンの測定が有効となります。

胃がんリスク検査（ABC 分類） ●対象 男女問わず希望者 料金 3,500 円

2つの血液検査の結果から胃がんのリスクをA、B、C、Dの4群に分類します。

ABC検診は、ヘリコバクターピロリ I g G抗体検査でピロリ菌感染の有無を、ペプシノゲン検査で胃粘膜萎縮度を調べ、その二つの結果を組み合わせることで胃の健康度を評価します。

●ヘリコバクターピロリ I g G抗体検査

胃にピロリ菌が感染していないか調べる検査です。

ピロリ菌は胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気のひきがねになると考えられています。

●ペプシノゲン検査（LA）

胃粘膜の老化（萎縮）の状態を調べる検査で、胃がん検診にも応用されます。

萎縮が進んだ胃は、胃がんになりやすいといわれています。

※ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC 分類の判定対象にはなりません。定期的な内視鏡検査をお勧めします。

お申込みの際、「ピロリ菌除菌治療後」と申し出ていただき、結果は、E群（除菌群）として各検査の数値結果のみのご報告となります。

※下記の方は ABC 分類に適しません。かかりつけ医療機関等にご確認・ご相談ください。

- ・胃の病気の治療中の方
- ・腎不全の方
- ・胃切除後の方
- ・ピロリ菌の除菌治療を受けた方
- ・胃酸を抑える薬を服用中の方

●女性の方へおすすめします

子宮がん検診（HPV 検査〔ヒト・パピローマウイルス検査〕） 料金 5,800 円

●対象 20歳以上の女性

子宮頸がんの原因となるヒト・パピローマウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。この検査により現在がんや異形成になっている可能性があるかどうか、将来子宮頸がんになる可能性があるかどうか調べることができます。*この検査は子宮頸部細胞診と同時実施になります。（単独で受けることはできません）

●マルチスライスCTを用いた検査です

肺がん検診

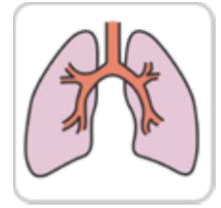
●対象 男女問わず希望者

料金 12,000円

～最新型マルチスライスCTによる診断を行います～

日本の肺がんは増加傾向にあり、死亡原因のトップです。一般ドックでの胸部レントゲン写真では診断できない早期肺がんを、肺マルチスライスCT（肺の高精細断層撮影）を用いて診断します。

喫煙者、咳・痰の多い方は特におすすめします。



●一回の採血で同時実施できる検査です

アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査（AICS）

血液中に含まれる20種類のアミノ酸濃度は、健康な人であれば、それぞれ、一定に保たれるようにコントロールされていますが、さまざまな病気になるとアミノ酸濃度のバランスが変化することが分かっています。このアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、がんに罹患している確率を予測するのが「AICS」です。

検査結果は、それぞれのがんについて0.0～10.0の数値で報告され、この数値からランクA・ランクB・ランクCの3段階で示されます。ランクが上がるほど、がん罹患している確率が高いこととなります。この数値に基づき、より精密な検査を受け、早期発見・早期治療に結び付けることができることとなります。

この検査は、がん罹患している確率を調べ、数値化したものであり、がんであるかどうかをはっきり判断するものではありません。

「AICS」は、もともと体の中にあるアミノ酸が、がんによりそのバランスが崩れることを利用した検査です。最近の研究では、がんがとても小さい段階であっても体の中のアミノ酸バランスが崩れることが分かっています。そのため、この検査を受けることでがんを早期に発見できる可能性があります。

一方、「腫瘍マーカー検査」は、体の中にできてしまったがんが作り出す特殊な物質を測る検査です。この物質は、もともと体の中にほとんどないものですが、がんができてしまうと大量に作られるものです。しかし、がんがある程度大きくなしないと、検査をしても数値に表れなかったり、がんが十分大きくてもあまり作られなかったりすることがあります。

男性 AICS（5種）

●対象 男性の希望者（25歳以上）

料金 23,100円

（胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん）

前立腺がんは40歳以上の方が対象となりますので、そのがんの結果数値はあくまでも参考値になります

女性 AICS（6種）

●対象 女性の希望者（20歳以上）

料金 23,100円

（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、膵臓がん、子宮がん（子宮頸がん・子宮体がん）、卵巣がん）

胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、膵臓がんは25歳以上の方が対象となりますので、そのがんの結果数値はあくまでも参考値になります。

●一回の採血で同時実施できる検査です

MCI（軽度認知障害リスクスクリーニング検査）

料金 19,800円

アルツハイマー型認知症の発生に関わるタンパク質の量を測定することでアルツハイマー型認知症のリスクを評価する検査です。

タンパク質の量を測定しアルツハイマー型認知症のリスクを評価し、タンパク質のリスクレベルを検査する物で、アルツハイマー型認知症を判断する物ではありません。

MCIとは認知症の前段階です。日常生活に支障はありませんが、適切な予防を行わずに過ごすと、5年未満以上の方が認知症に進行（*）するといわれています。（* MCIスクリーニング検査メーカー資料より）

アルツハイマー病の病体進行に関わるタンパク質の量を測定しMCI（軽度認知障害）のリスクを判定し、リスク値は0.00～2.00の数値から「ランクA」「ランクB」「ランクC」「ランクD」に分類され4段階で示されます。

タンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを表しています。

（タンパク質：「栄養群」「脂質代謝群」「炎症・免疫群」「凝固線溶群」）